

2022 年度 越川ゼミ紹介

■担 当 者：越川次郎

■専門分野：民俗学 ・文化史 民間医療

❖対象領域 日本の生活文化。たとえば有形文化、民具、民間信仰、民間医療、儀礼伝承（人生儀礼、年中行事）などであるが、自分の身のまわりの生活文化を歴史的視点で捉えられるのであれば、対象は何でも構わない。

❖演習・ゼミの内容

- ・「日本文化演習A」 論理的な思考を養うための文献を読む。卒業論文や就職活動に接続させる。ゼミ生に希望のテーマがあれば、ゼミの合意を経てそのテーマを研究する場合もある。
- ・「日本文化演習B」 卒業論文の検討。各自、興味の持ったテーマについて発表し、卒業論文のテーマにできるかどうか検討する。先行研究の検討を行った上で、論文タイトルと論文構成まで作成できれば理想的。

❖主な卒業論文のテーマ

「菱野のおでく警護祭り—その歴史的変遷をめぐって—」「両墓制成立の一考察～尾張旭・長久手・瀬戸・春日井の事例を中心に～」 「祭りにおける火の役割～たいまつ祭りを事例として～」 「耳の民間療法における一考察」 「春日井の人柱伝説」「虫送りが廃れた理由」「年中行事の変化とその理由～愛知県一宮市竈屋の事例 から～」 「東京ディズニーリゾートの運営における文化的適応」「衆道に関する一考察」「漁村の信仰の現在」「空手の海外における受容の歴史とその理由」（その他、研究室の学生用PCに入れてある。）

❖その他

見学会を行う。参加自由。以前は、東大阪市の石切神社とその参道（民間信仰、民間医療のメッカ、占いの館が立ち並ぶ）に行っていたが、2017年度は、神奈川県鎌倉と江ノ島に行き、2018年度は京都を巡った。コロナの影響で実施できるかどうかはわからないが、それも含めてゼミで話し合っ行き先を決めたい。

❖面談

・ PSH、昼休み、その他研究室在室時。ノックして今大丈夫かどうか聞くこと。メールで日時を問い合わせてもよい。面談は越川研究室にて。基本的な礼儀やマナーは守ること。

❖連絡先

jkoshi@isc.chubu.ac.jp